

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
33505	インテリアエレメント Interior Element	鈴木 光太	専門	1	選択	1・2年 後期
科目の概要						
<p>「インテリアエレメント」=「しつらえ」である。 インテリア空間は様々なエレメント(要素)が絶妙に構成されることにより豊かになる。 トレンドだけに左右されない自身の生活空間を豊かにすることを学ぶ。</p>						
学修内容			到達目標			
① 個々のライフスタイルに必要な要素は何かを学ぶ。 ② アートワークとしての時計のデザインと製作をする。			① ライフスタイルに必要な要素を説明できる。 ② 理想のインテリアを演出する時計をデザインできる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	必要な知識・考え方について、教科書・文献などを使って自己学修をすることができる。				
	働きかけ力					
	実行力	責任を持って課題をやりきることができる。				
考え抜く力	課題発見力	人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。				
	計画力	期限内に作品を完成させることができる。				
	創造力	固定概念にとらわれることなく、物事を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	相手に伝える工夫をして発表できる。				
	傾聴力	人の意見を把握し、自分の意見を述べることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題の未提出、未発表など、授業に支障を来す行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:なし 参考文献:陰翳礼賛(中公文庫) 谷崎潤一郎						
他科目との関連、資格との関連						
他科目との関連:なし 資格との関連:なし						
学修上の助言			受講生とのルール			
SKILL(技術)より WILL(意志)			課題製作に使う工具類は各自持参すること。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	40	①		(発信力) ・第10週～14週の内容について、実物作品での成果発表を行う。
		②	✓	
作品	50	①		(実行力)(計画力)(創造力)
		②	✓	・作品の完成度 (高く丁寧 50点、高い 30点、工夫がある 20点、努力が必要 10点)
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(主体性) ・必要な知識・考え方について、教科書・文献などを使って自己学修をすることができる。
		②	✓	(実行力) ・責任を持って課題をやりきることができる。
				(課題発見力) ・人間の行動や日常を観察し、課題を見極めることができる。
				(創造力) ・固定概念にとらわれることなく、物事を考えることができる。
				(発信力) ・相手に伝える工夫をして発表できる。
				(傾聴力) ・人の意見を把握し、自分の意見を述べることができる。
				(規律性) ・遅刻、欠席、学習意欲欠如が見られる場合は5点を減点する。 課題の未提出、未発表が見られる場合は5点を減点する。
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
各インテリアエレメントをほぼ理解し、成果発表・作品において、高く丁寧な完成度であること。	成果発表・作品において、デザインに工夫が見られ高い完成度であること。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	インテリアエレメント画像説明、課題説明	講義	インテリアエレメントの概要を認識できる。	(予習) 自宅にどんな家具があるか分類する	45	主体性 創造力
2週 /	家具 過去から現在までの変遷を学ぶ	講義	大まかな家具の変遷の見識を持つことができる。	(予習) 陰影礼賛を読んでおく。	90	主体性 創造力
3週 /	照明 道具としての照明、空間としての明かりを学ぶ	講義	谷崎潤一郎の陰影礼賛から感じる。			主体性 創造力
4週 /	壁紙・壁面仕上げ材 日本古来の素材と各国の素材との違いなどを学ぶ	講義	壁紙・壁面仕上げ材の見識を持つことができる。	(復習) 自宅の壁紙・壁面仕上げ材を観察する	45	主体性 創造力
5週 /	畳・敷物 日本古来の素材と各国の素材との違いなどを学ぶ	講義	畳・敷物の特性の見識を持つことができる。	(復習) 自宅の畳・敷物を観察する	45	主体性 創造力
6週 /	建具・カーテン それぞれの種類、使い方などを学ぶ	講義	建具・カーテンの種類、使い方の見識を持つことができる。	(復習) 自宅の建具・カーテンを観察する	45	主体性 創造力
7週 /	住宅設備 バスルームやキッチンなどの水回り環境を学ぶ	講義	リラックスできる水回り環境と変遷の見識を持つことができる。	(復習) 自宅の水回り環境を観察する	45	主体性 創造力
8週 /	伝統工芸 インテリアにおける伝統工芸とは何かを学ぶ	講義	新しい伝統工芸の見識を持つことができる。	(復習) インテリアショップ等で伝統工芸品を観察する	45	主体性 創造力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	インテリアアクセサリー 装飾することでインテリアはより豊かになることを学ぶ	講義	アートワーク、インテリアグリーンの見識を持つことができる。	(復習) 自宅のアートワーク、インテリアグリーンを観察する	45	主体性 創造力
10週 /	インテリアアクセサリー課題 アートワークとしての時計のデザインと製作をする	講義、実習	理想のインテリアを演出する時計をデザインできる。	(予習)どんなインテリアを演出したいか考えてくる。	45	主体性 実行力 創造力
11週 /	アイデアスケッチ 1 時計のアイデア展開をする	実習、作業中助言	アイデアを展開できる。	(予習)どんな時計にするか想像しながら材料検討をする。	45	実行力 創造力
12週 /	アイデアスケッチ 2 デザインチェック アイデアのチェックをする	実習、作業中助言	使う素材を意識してデザインできる。			実行力 創造力
13週 /	モデル製作 1 チェックを受けたデザインを製作する	実習、作業中助言	前週までを踏まえ、アイデアを具体化できる。			実行力 創造力
14週 /	モデル製作 2 チェックを受けたデザインを製作する	実習、作業中助言	具体化したアイデアを立てて確認できる。	(予習)作品、プレゼン資料を用意してくる。	180	実行力 創造力
15週 /	プレゼンテーション 作品をもってプレゼンテーションする	作品説明、講評	社会人として分かりやすくプレゼンテーションができる。			発信力 計画力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力